



平成 27 年 3 月 20 日

各 位

東京都品川区東品川四丁目 12 番 8 号
株 式 会 社 S J I
代表取締役会長兼社長 石濱 人樹
(JASDAQ: 2315)

問合せ先:

経営企画本部 副本部長 藤井 肇
TEL 03-5769-8200 (代表)

子会社の異動を伴う持分の一部譲渡に関する譲渡実行日変更のお知らせ

当社は、平成26年12月29日付「子会社の異動を伴う持分の一部譲渡および特別利益の計上見込みに関するお知らせ」のとおり、南京徳富瑞管理咨询有限公司との間で持分譲渡契約を締結し、当社の連結子会社である聯迪恒星（南京）信息系統有限公司（英文名：Liandi (Nanjing) Information Systems Co., Ltd. 以下、「LDNS」といいます。）の持分の一部を譲渡（以下、「本件持分譲渡」といいます。）することを決議しておりますが、本日開催の取締役会において、平成27年3月中旬（予定）としておりました本件持分譲渡実行日を変更いたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

なお、本件持分譲渡実行日以外の変更はございません。

記

1. 譲渡実行日の変更を行う理由

本件持分譲渡につきましては、当社の債権者・担保権者である金融機関が保持する本件持分に設定された担保権が全て解除されることが条件とされておりますが、当該担保権の解除の条件となる担保権者への弁済資金の調達に想定以上の時間を要していることにより、本件持分譲渡実行日においても、平成27年3月中旬（予定）という日程は難しい状況となっております。こうした中、中訊軟件集団股份有限公司（英文名：SinoCom Software Group Limited）株式の売却（平成26年12月10日付「子会社の異動（株式譲渡）および特別損失の計上見込みに関するお知らせ」、平成27年2月24日付「持分法適用関連会社の株式譲渡および特別損失の計上見込みに関するお知らせ」および平成27年3月11日付「持分法適用関連会社の異動を伴う株式譲渡および特別損失の計上見込みに関するお知らせ」をご参照ください。）によって得た資金の一部を、LDNSに設定されている担保の担保権者への弁済に充当できる見通しとなりました。

なお、本件持分譲渡契約の効力発生の停止条件として、本契約締結後1ヶ月以内に担保権が全て解除されることが条件となっているものの、担保の担保権者への弁済に充当できる見通しがたったことを背景に担保権解除の交渉を行った結果、担保を解除して頂ける見通しとなりました。

今後につきましては、当社は担保権者との良好な関係を保っており、平成27年4月中旬（予定）の譲渡実行日までに担保が解除されるものと考えております。

また、譲渡先である南京徳富瑞管理咨询有限公司からも本譲渡実行日が4月中旬に変更されても、本譲渡を進めることのできることを承を頂いております。

以上により、本日開催の取締役会において譲渡実行日の変更を決定いたしました。

2. 譲渡実行日

変更前	変更後
平成27年3月中旬(予定)	平成27年4月中旬(予定)

3. 今後の見通し

本件持分譲渡に伴う関係会社株式売却益482百万円を特別利益として計上する見込みであることに変更はございませんが、計上時期につきましては、平成27年3月期第4四半期から、平成28年3月期第1四半期に変更する見込みであります。

なお、決算において使用する期中平均為替の変動等により、当該関係会社株式売却益は変更されることがあります。

平成26年12月29日付の開示において、財務体質改善が喫緊の課題であり、平成27年3月期末までに財務体質改善効果をあげるため、本持分譲渡を行う旨を記載しておりましたが、上述のとおり担保権解除の遅れにより譲渡実行日を変更することになりました。この変更については、担保権者である金融機関等との交渉を継続して行ったことで、譲渡実行日を4月中旬とする事を了承して頂きました。また、本持分譲渡後、LDNSとの業務提携および董事の派遣等を行う方針に変更はなく、当社のこれまでの開発体制に大きな影響はないと考えております。

平成27年3月期通期の業績予想につきましては、他の要素も含め現在精査中であり、確定次第速やかに知らせいたします。

以 上

(参考) 当期連結業績予想(平成27年1月30日公表分) および前期連結実績

(単位:百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益
当期連結業績予想 (平成27年3月期)	29,063	76	6	336
前期連結実績 (平成26年3月期)	26,276	△805	△1,615	△6,149